

PQA事業グループ プレジデントメッセージ



ワールドクラスの品質保証 ソリューションパートナー になる

～グローバル市場での
First Call Companyをめざして～

新美 眞澄

取締役
常務執行役員
PQA事業グループ プレジデント

PQA事業は、国内食品市場で、業界トップクラスの地位を獲得し、安定した収益基盤を確保しています。海外食品市場においても、X線ソリューションに対する高い評価を強みとして、市場平均を大きく上回る2桁成長率を勝ちとってきました。

新中期経営計画GLP2020では、グローバル市場での事業拡大を一層進めるために、事業基盤の整備強化に取り組めます。お客さまから高い評価を得ている品質保証ソリューションのみならず、販売-生産-保守サービスのサプライチェーンのグローバルなプラットフォームづくりに積極的に投資し、課題解決エキスパートとして、グローバルなお客さまから信頼を得る世界企業へと成長してまいります。

GLP2017の振り返り

～X線ソリューションと事業のグローバル化で 目標を上回る～

中期経営計画GLP2017(2015年度～2017年度)では、2017年度売上高200億円、営業利益率8%を設定し、オリジナル&ハイレベルなソリューションの創造と事業のグローバル化に取り組んできました。

GLP2017の3年間は、品質検査の自動化や高度化の機運が世界的に高まる中、日本市場では主力商品である重量選別機やX線検査機が、畜肉加工品、冷凍食品やレトルト食品などの調理済み食品の設備需要をとりえて伸長しました。また北米市場において取り組んできたX線検査機をキーソリューションとする顧客開拓が

進展したほか、中国や東南アジア、欧州など他の地域での販売も総じて好調に推移しました。

これらの結果、2017年度は売上高225億49百万円、営業利益率8.7%となり、GLP2017の目標を上回る成果となりました。

事業領域とソリューション

■ 事業領域と社会価値

PQA事業は、主に加工食品・医薬品の生産ラインにおける品質検査システムの開発、製造、販売、保守サービスを行っており、売上高のおよそ8割が食品産業向けのビジネスです。スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで販売されている加工食品の多くは、食品工場

で、ベルトコンベアの上を1分間に何十個という猛スピードで運ばれながら生産されています。PQA事業の製品はこのような生産ラインの中で、これまで人を介していた品質検査を自動化することにより生産性と品質の向上に貢献しています。

■ 強みと主なソリューション

「はかる」をビジネス領域とし、センシングと画像・信号処理技術をコアに持つアンリツは、食品・医薬品市場の顧客と「安全・安心」に係る品質保証の課題に取り組んできました。現在の主な製品は、食品を一定の重さに取り分ける自動電子計量機、内容量を検査する重量選別機、対象物への異物の混入をチェックする金属検出機やX線検査機などです。また、これらの機器から生成

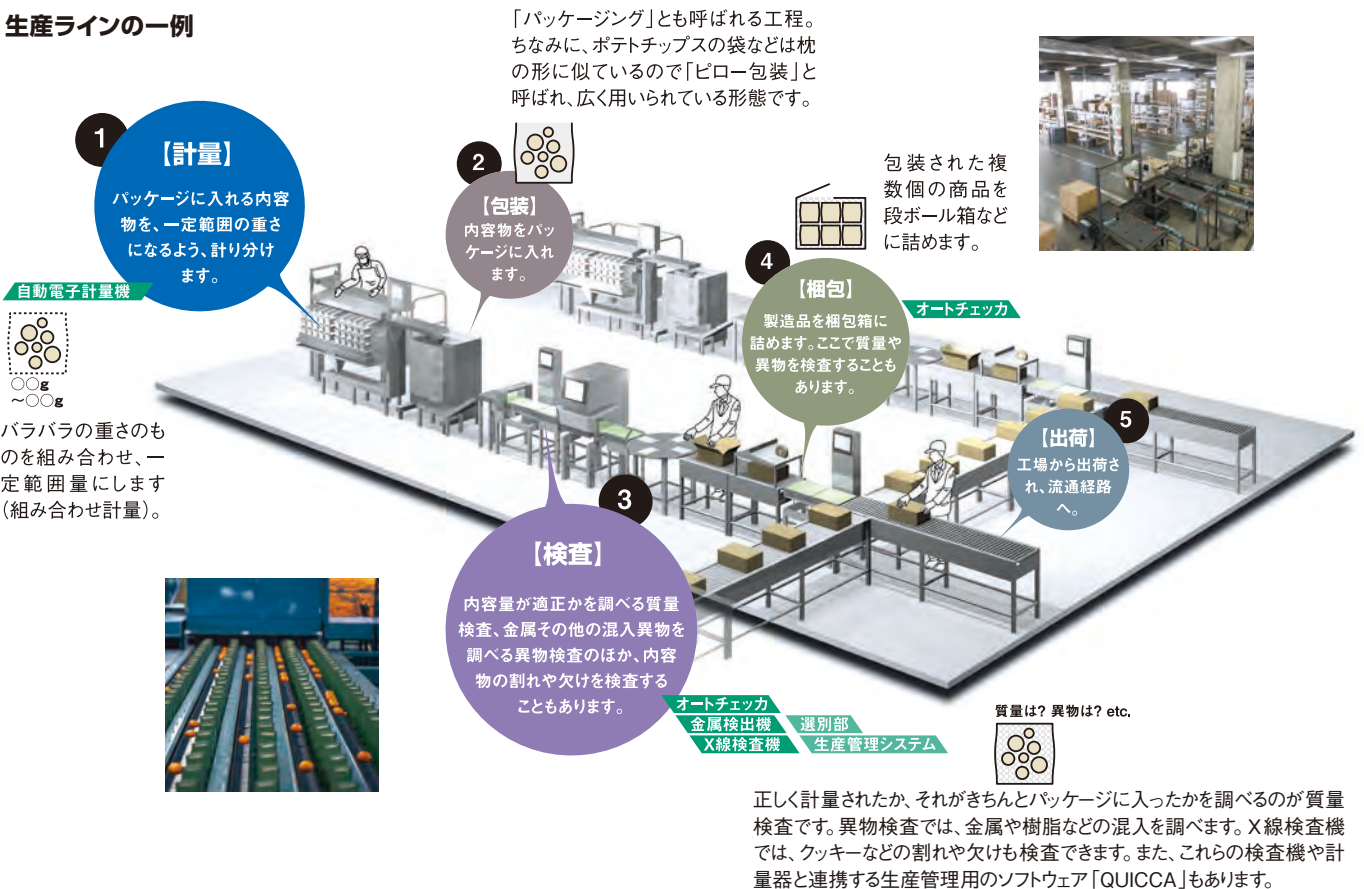
される品質データを分析し、不良原因の特定や生産性の向上、トレーサビリティの構築などに活用できるシステムソリューションを提供しています。

■ 顧客ごとに最適な品質保証をサポート

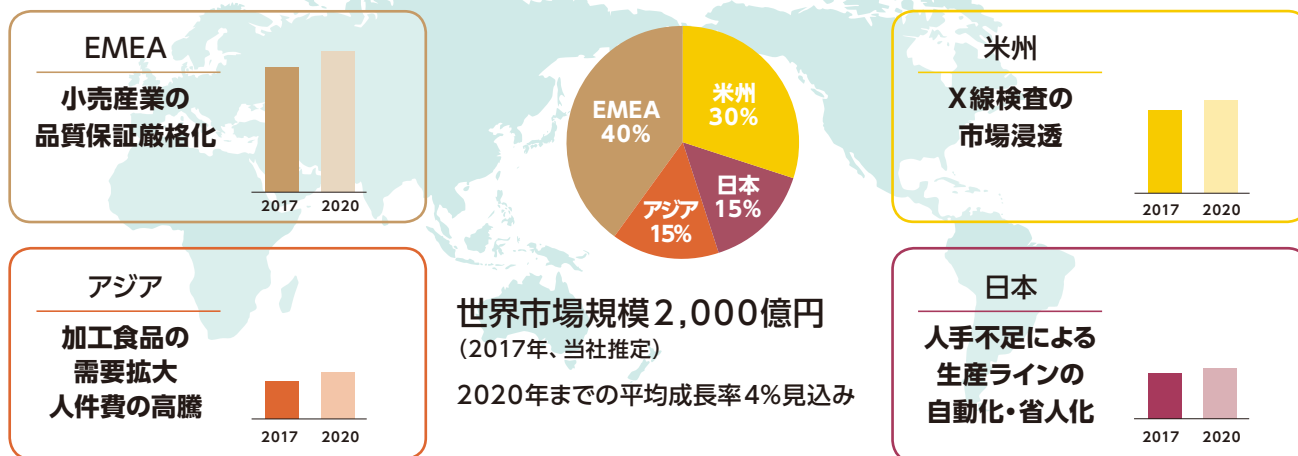
生産ラインの環境は、生産する品目や地域の消費文化によって大きく異なります。品質検査に対する顧客の要望もさまざまです。また生産ラインの一部となって昼夜稼働する検査機器には、損耗や故障によって生産がとまることがないように高い信頼性が求められます。

アンリツは、一つとして同じ環境はない多様な現場に、柔軟かつ迅速に対処するための一貫体制を実現し、顧客の要望や使用環境に最適な品質保証ソリューションを提供しています。

生産ラインの一例



PQA事業の対象市場の現状と見通し



市場環境

PQA事業の顧客である食品事業所は、グローバルベースで十数万社にのぼります。食品産業における品質保証のニーズは、先進国で高度化するとともに、新興国へと広がり続けています。

日本では、少子高齢化に伴う人手不足が深刻化しており、生産ラインの自動化、省人化のニーズが高まっています。また当社のソリューションパートナーでもあるコンビニエンスストアや総合スーパーなどは、「生産から販売までトータルに品質保証する」ことを目指したサプライチェーンを構築しています。

北米地域では、X線による検査が市場に浸透し、精肉の中に残ってしまった骨の検出や、菓子や調理済み食品の検査などを中心に需要が拡大しています。

欧州では、成熟した品質検査市場が形成されており、品質管理基準の標準化が進んでいます。国際基準の多くが欧州発であり、「食の安全・安心」に係る最先端の市場となっています。

中国、ASEAN諸国では、包装済み食品の流通拡大に伴って、安全な食に対するニーズが高まりつつあり、欧米のグローバル企業や地域トップの食品企業を中心に、今後も品質検査需要の拡大が見込まれます。

PQA事業の海外売上比率は約45%です。世界市場でのプレゼンスを高め、海外比率50%超を早期に実現していきます。

成長戦略

■ GLP2020基本方針

新中期経営計画GLP2020では、「グローバルな事業展開」「品質保証ソリューションの顧客価値創造」「先進顧客との共創・発展」を計画の柱とし、2020年までの3年間で、ワールドクラスの品質保証ソリューションパートナーとして、世界の顧客から最初にお声がけいただける、真のグローバル企業になるための重要な準備期間と位置づけています。

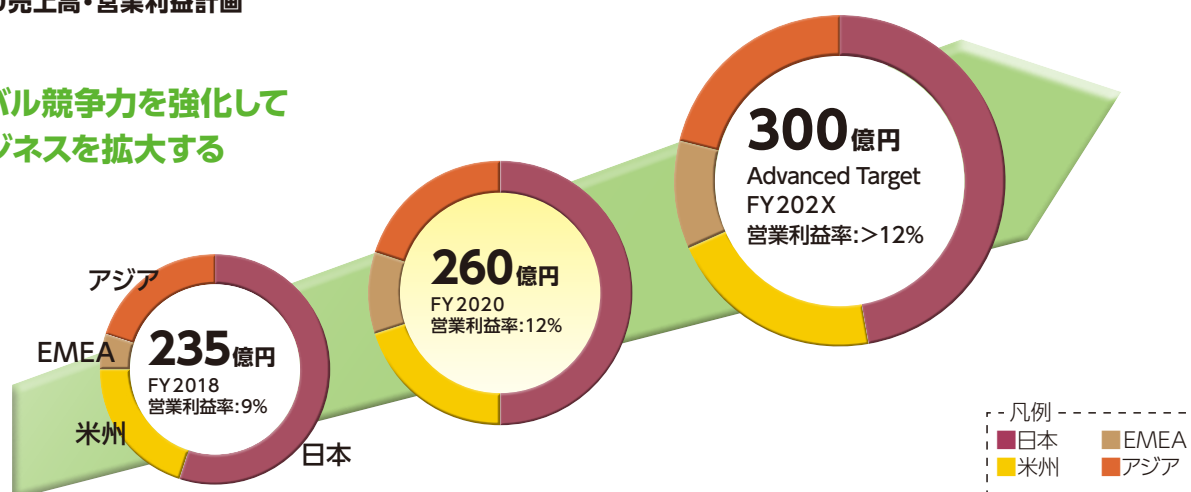
2020年度の売上高目標は、市場平均伸び率並みの260億円として、2020年以降での飛躍に備えるとともに、次期中期経営計画GLP2023期間内において、売上高300億円を射程に入れます。そのために、事業体制を整備し、生産性向上への投資強化と業務プロセスの最適化を進めます。また、2020年以降に成長を加速させるために、欧州市場と医薬品市場に本格参入します。

■ ソリューションの革新

食品の品質保証については、毛髪や虫などの生物由来の異物、残留農薬や毒物による化学的汚染などは、現在の技術では生産プロセス中の全数検出が困難です。また、消費期限切れや原材料の誤表示など、回収廃棄の原因ともなる品質不良の克服が課題となっています。これらを自らの課題として真摯に受け止め、センシング技術と品質データ解析技術を革新して、顧客とともに乗り

GLP2020売上高・営業利益計画

グローバル競争力を強化して 海外ビジネスを拡大する



越えていきます。

医薬品は、食品と並んで「誰もが健康で安心して暮らせる社会」を実現するための重要な産業です。医薬品産業は、食品産業以上に厳格な品質保証を自らに課しています。医薬品市場へ事業を拡大することは、食品市場で培った高効率な品質検査手法を提供するだけでなく、当社の品質保証ソリューションを高めていく上でも極めて重要な取り組みです。医薬品市場のニーズに応えるソリューションの開発と充実、そしてサポート体制の整備を進め医薬品市場での事業拡大を図っていきます。

■ 営業利益率12%超に向けて

収益面では、事業のグローバル化に伴って激化する市場競争に打ち勝ち利益ある成長を持続することが課題です。品質保証をコンセプトとするシステムソリューションを強化し、検査機器主体のビジネスから、顧客の品質保証活動をトータルにサポートするソリューションへと、提供する価値を革新します。併せて、欧米市場や医薬品市場で付加価値の高いソリューションを拡大し、プロダクトミックスを改善します。

また、生産プロセスとサプライチェーンのグローバルな最適化、製品プラットフォームの刷新による開発効率の向上、小回りの利くモノづくりによる棚卸資産の圧縮など、グローバルベースでの財務体質改善に取り組み、営業利益率12%を実現します。

PQA事業が提供する社会価値

世界的な人口増加が進む中、とりわけ食糧需給については、限りある食物資源を無駄なく享受しつつ、飢餓を撲滅していくことが大きな社会的課題となっています。

PQA事業では、食品加工ラインに対し、高品質かつ高効率な品質保証システムを提供することにより、食品企業の食品ロス低減と安全・安心な食品の安定供給に貢献しています。これにより、食品メーカーは、調理残渣(ざんさ)を飼料等に二次利用でき、食材の有効活用や調理に関わるエネルギー効率の向上が可能となります。また、食品企業において、提供する食品の品質保証は最重要課題であり、万一の食品事故やリコールはブランド存続にも影響する大きなリスクです。万全の品質保証対策の実施は、リスク軽減策であると同時に、回収に伴う食品ロス、輸送エネルギー等の低減にもつながります。

一方、発展途上の国々において食品産業は、安定した食品の供給とともに、衣食住の一角を担う社会インフラとして、健全な雇用機会を提供し、経済発展を促すという極めて重要な社会的使命を負っています。先進国で培われた高品質かつ高効率な食品生産システムは、発展途上国の経済発展にとどまらず、地球規模の持続可能性を高める上で大きな可能性を秘めています。

PQA事業は、食品や医薬品の品質保証の高度化を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる社会、食品ロスの少ない持続可能な社会の実現に今後も貢献していきます。